

V. 昭和 42 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

本所発行の研究発表、紹介の出版物としては次の 3 種がある。そのほかには生研案内(和文・英文)と年次要覧(いずれも年刊)がある。

東京大学生産技術研究所報告(略称:生研報告)

所員のまとまった研究成果を発表する。本文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を刊行している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で発行している。

以上は、本所の発行の分で、その他、随時に学会誌、協会誌、その他の学誌に研究を発表している。

生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、写真中心に簡略に編集したもので、現在まで 100 種を発行している。

A. 東京大学生産技術研究所報告(不定期刊・研究発表誌)

昭和 42 年度(42 年 4 月～43 年 3 月)に発表したものを次の表に示す。

巻 号	題 目	著 者	発行年月
17・7	人間機械系として考えた場合の自動車の操舵特性の改善(英文)	平尾 収・菊池 英一 山田 尚之	42. 5
18・1	流体伝導装置の非定常特性(英文)	石原 智男・R. 江守一郎 斎藤 治彦	42. 10
18・2	写真および電子写真の分光増感(英文)	谷 忠昭・菊池 眞一	43. 2
18・3	金属の塑性変形抵抗の研究(英文)	鈴木 弘・矢吹 豊 橋爪 伸・剣持 銈治 市原 幸則・中島 聡	43. 3
18・4	3成分系ガラス化範囲(1) a-族元素珪酸塩系	今岡 稔・山崎 敏子	43. 3

B. 生 産 研 究

巻 号 (発行年月)	題 目	著 者
19巻 4 号 (42年 4 月)	所長に就任するに当たって(巻頭言) 材料の表面と疲れ(3)(研究解説) 高真空、超高真空における物理吸着の測定(研究解説) 液状パッキンとその作用機構(研究解説)	菊池 眞一 北川 英夫 辻 泰 野崎 弘・古川 勉 佐々木 裕

	オゾン分析試薬としての塩化クロムの検討 (研究速報)	菊池 眞一・鈴木 伸 小柳 宏一
19巻5号 (42年5月)	ボイラ・アキュムレータ制御系の動的解析 (研究速報) 自動車に関する研究問題 (研究解説) 急しゅん波測定に関する最近の諸問題 (研究解説) 人工軽量骨材コンクリートについて (研究解説) 一現状と問題点一	内田 恒夫 平尾 収 河村 達雄 小林 一輔
19巻6号 (42年6月)	幾何光学によるホログラフィの結像 (研究速報) 多段バッチ・プロセスの最適化 (研究速報) 蒸着膜が厚い CdS 圧電変換子の試作 (研究速報) 超音波による高電圧がいしの汚損監視 (研究速報) 鉄マンガン合金のクリープにおける回復機構 (研究速報) 芳香族アゾニウム塩の電子状態と光分解 (研究解説)	小瀬 輝次 森 政弘・鶴屋 治紀 尾上 守夫・渡辺 誠一 藤高 周平・藤田 良雄 石田 洋一 菊池 眞一・本多 健一 鋤柄 光則 浅原 照三・妹尾 学 新井 健
	有機核置換反応における溶媒効果 (研究解説) 一ラウリルクロライドと水酸化ナトリウムの反応を中心として一	
	分子ふるいゼオライトの合成 (研究解説) 高膨張比におけるラジアルタービン用ノズルの特性 (研究速報)	高橋 浩 水町 長生・山下 雄康
	テトラクロルアルカン (TCA) のポーラログラフィ (研究速報)	早野 茂夫・新井 五郎
19巻7号 (42年7月)	3,3-ビス (ベンゾキシメメル) オキセタンの合成とその反応 (研究速報) 3-ヨードペリレンの合成とその Villmann 反応 (研究速報) 精糖用真空結晶缶の特性と制御の問題点 (研究解説) 東京都心の地域冷暖房負荷 (研究解説) マサチューセッツ工科大学における教育 (海外事情) 光学にあらわれる相関関数のガウス曲線による近似法 (研究速報)	金 広正・中島 利誠 亀山 宣男・後藤 信行 梅谷 陽二・古賀 悦之 勝田 高司・野田 耕臣 石田 洋一 鈴木 恒子・小瀬 輝次
	流体継手の振動特性に関する研究 (研究速報) 圧力調整弁の静特性に関する研究 (研究速報)	石原 智男・斎藤 治彦 石原 智男・小嶋 英一 水野 清史
	圧力調整弁の動特性に関する研究 (研究速報) 不規則分布係数波動方程式の解析 (研究速報) 一変断面棒の縦振動一	石原 智男・小嶋 英一 宮本 昌幸・柴田 碧
19巻8号 (42年8月)	示差熱分析によるイオン交換樹脂の熱的挙動の研究 (研究速報) 空間の素領域と時間の最小単位 (研究速報) 有限オートマトンの代数的性質 (研究解説) 一デジタル機械の数学的表現一 レーザを使用した超高圧変流器 (研究解説)	山辺 武郎・鈴木 香 高井 信治 白鳥 高行 森脇 義雄・河田 汎
	東京都心の大気汚染と暖房 (研究解説) 誘導ブリュアン散乱による液体の音速の測定 (研究速報)	斎藤 成文・浜崎 襄二 藤井 陽一・横山 幸嗣 大野 豊 勝田 高司・野田 耕臣 鳥飼 安生・根岸 勝雄 山崎 正之
	吸収電子測定法によるジルコニウムへの酸素侵入曲線の観察 (研究速報)	本間 禎一
	金属-酸化物-半導体構造 (MOS タイオード) の容量-電圧特性曲線におよぼすバイアス・温度処理の影響 (研	堀内 重治・栗原由起子 安達 芳夫

	究速報)		
19巻9号 (42年9月)	副共振に起因する水晶発振器の二重発振の一例(研究速報) 生体機能をもつ情報処理系の研究(1)(研究解説) —神経細胞モデル IMICTRON の応用— 放射性ガスの吸着処理に関する研究の現状(研究解説) 欧米の研究におけるいくつかの経験(調査報告) 流体論理素子に関する基礎研究(研究速報) 二酸化モリブデンの潤滑機構について(研究速報) ボイラ・アキュムレータ系の最適設計(研究速報) GeS ₂ 系カルコゲナイドガラスについて(研究速報) —ガラス化範囲— 有機過酸によるブタジエンのエポキシ化反応(研究速報)	高木 幹雄・藤本 洋 合田 周平 河添邦太郎・竹内 雍 石田 洋一 松本 義雄・大島康次郎 星本 健一 郭 仁波 今岡 稔・山崎 敬子 浅原 照三・雑賀 大武 高橋 正利 浅原 照三・有田 喜一	
19巻10号 (42年10月)	芳香族アルデヒドとケテンとのカチオン共重合反応(研究速報) NMR スペクトルによるテロマーの構造解析(研究速報) 笹部高雄君を悼む(巻頭言) 将来の製鉄法のための研究について(研究解説) 生体機能をもつ情報処理系の研究(II)(研究解説) —神経細胞モデル IMICTRON の応用— 自己同期符号について(研究解説) SCR を用いた交流サーボ増幅器(研究解説) 設計方法のシステム化(研究解説) MOS 形 FET を用いた A-D 変換器用局部復号回路(研究速報)	浅原 照三・呉 澄清 江上 一郎 中根 千富・大藏 明光 合田 周平 安田 靖彦 原島 文雄・内田 克己 池辺 陽 森脇 義雄・高羽 禎雄 木下 英実・西森 武弘 河村 達雄 高木 幹雄 江上 一郎・中根 千富 平尾 収 佐藤 乙丸 野崎 弘・藤代 光雄 尾山 権吉 岡本 舜三・田村重四郎 加藤 勝行 金 栄吉・古谷 国貴	
19巻11号 (42年11月)	急しゅん波測定における負レスポンス時間(研究速報) データ伝送におけるひずみ補償の一方式(研究速報) 試験溶鉱炉研究グループ(研究室紹介) 微分項を含んだ操能系の研究(研究解説) 放射性同位元素を利用した河川の流量測定(研究解説) バナジウム資源の諸問題とその生産法(研究解説) —一砂鉄中よりバナジウム有機溶媒による捕集研究— 生研式アーチダム振動模型実験(研究速報)	武藤 義一・高田 芳矩 河口 敏雄 鈴木 喬・妹尾 学 山辺 武郎 石田 洋一・長谷川 隆 永田 文男 川浦 潔 越 正毅・片倉 正彦 藤高 周平 本間 禎一・一色 貞文 樋谷 暢男 森 政弘 井口 昌平	
19巻12号 (42年12月)	自動車用ガソリン機関の混合気分配におよぼす吸入通路の幾何学的条件の影響(研究速報) 精密電量計の試作とその微量分析への応用(研究速報) イオン交換反応の熱化学的研究(研究速報) 透過電子顕微鏡による金属結晶粒界の観察(研究速報) 積雪地域における道路交通調査(研究速報) 自動車交通流の車頭時間間隔分布(研究速報) 藤高研究室(研究室紹介) 鉄鉱石の熱割れ機構(研究解説) —イタビライトにおける結晶学的アプローチ— 生産工程無人化の基本的手法(研究解説) Donau 川の河床状態に関する Girardon の調査報告について(研究解説) ひずみ増分理論による液圧バルジ試験の解析(研究速報)	山田 嘉昭・横内 康人	

	光学的自己相関計 (研究速報)	松本 和也・小瀬 輝次
	軟弱層内での管路の振動実験について (研究速報)	岡本 舜三・田村重四郎
	ガラス球充てん層の熱伝導率測定 (研究速報)	棚沢 一郎・永田 真一
	露光済写真乳剤中の臭化銀の Fermi 単位分布の測定 (研究速報)	浜野 裕司・菊池 眞一
	坪井研究室 (研究室紹介)	川股 重也
20巻 1号	年頭にあたって (巻頭言)	菊池 眞一
(43年 1月)	現代の文明社会と自動車 (論説)	平尾 収
自動車と自動	自動車変速機の変速段代替時におけるトルク変動について	石原 智男
動交交に関	(特集)	
する特集	自動操縦の問題点 (特集)	菊池 眞一
	人間-自動車系の研究のための自動操縦 (特集)	平尾 収
	—サンプル値, 多位置制御による自動操縦—	
	自動車の振動騒音について (特集)	亘理 厚
	道路からの交通騒音の伝搬に関する研究 (特集)	石井 聖光・平野 興彦
		朝生 周二・山口 道征
	自動車と都市 (特集)	池辺 陽
	道路施設と施設計画の問題点 (特集)	星埜 和
	自動車の運転動作におよぼす外乱の影響に関する実験 (その1) (研究速報)	小口 泰平
	—実験装置の試作と二, 三の測定—	
	運転適性の判定法としての Cybernetical Controllability Number (C, C, No) (研究速報)	稲葉正太郎
	広域交通制御のひとつの可能な方法 (研究速報)	越 正毅
	回転体の非対称問題に対する剛性行列 (研究速報)	川股 重也・塩屋 繁松
	岡本研究室 (研究室紹介)	
20巻 2号	公害対策の研究態度 (論説)	武藤 義一
(43年 2月)	大気汚染の化学的諸問題 (特集)	鈴木 伸・菊池 眞一
公害対策特	燃焼排ガスの脱硫プロセスについて (特集)	河添邦太郎
集	合成洗剤廃液の処理対策 (特集)	浅原 照三
	合成洗剤微量分析法の動向 (特集)	早野 茂夫
	水の脱塩処理 (特集)	山辺 武郎
	担体付白金触媒における Co 酸化反応速度 (研究速報)	河添邦太郎・深草 道彦
	イオン交換法による河川毒水処理の研究 (研究速報)	山辺 武郎・妹尾 学
		高井 信治
	核燃料再処理排ガス中の放射性希ガスの吸着除去 (研究速報)	河添邦太郎・川井 利長
	金属のクリープ変形における粒界すべりの貢献度の上限值 (研究速報)	宝角 茂
		石田 洋一
	菊池研究室 (研究室紹介)	菊池 眞一
20巻 3号	超音波による Al 中への Al ₂ O ₃ の分散に関する研究 (研究解説)	朴 鎮黙・鳥飼 安生
(43年 3月)	分散を考慮した近似多項式次数選定の方法 (研究解説)	浜崎 襄二
	プラズマジェットの治療への応用 (研究解説)	明石 和夫・石塚 隆一
		江上 一郎
	励起状態の電極反応 (研究解説)	本多 健一・谷 忠昭
	アメリカにおける固体力学研究の最近の動向 (調査報告)	川井 忠彦
	レーザで誘起される衝撃音圧 (研究速報)	根岸 勝雄・山崎 正之
	超音波が金属の塑性変形におよぼす作用について (研究速報)	山本 昌孝・藤森 聰雄
		鳥飼 安生・山田 嘉昭
	デジタル計算機による滴状凝縮現象のシミュレーション	棚沢 一郎・宮沢 忠男

ン (研究速報)	
ポリケイ皮酸ビニルの増感機構 (研究速報)	中村賢市郎・菊池 眞一 広橋 正房
金属結晶粒界の微細構造 (研究速報)	石田 洋一・長谷川 隆 永田 文男
広域交通制御における信号オフセットのプログラム形成の ひとつの方法 (研究速報)	越 正毅
星野研究室 (研究室紹介)	星野 昌一

C. 生研リーフレット

42 年度は都合により発行しなかった。

D. 著書および所外の学術雑誌などに発表したもの

—表題は原文表題—
—各項目末尾の数字, 文字は, 順に巻 (太字), 号, ページ,
発行所名, 年, 月 (西暦) を示す。巻のないものは, 文字
でその呼称を示す—

第 1 部

教授 岡本 舜三 (Shunzo OKAMOTO)

建設技術者のための振動学, オーム社, 1967. 5.

Dams in Earthquake Zones or Other Unfavorable Situations—The Transactions of the 9th International Congress on Large Dams, p. 235~259, 1967. 9.

Dynamic Behavior of Earth Dam during Earthquake (Coauthors: C. Tamura・K. Kato・M. Otawa)—The Transactions of the Ninth International Congress on Large Dams, 111~122, 1967. 9.

軟弱地盤内における管道の動的挙動 (田村重四郎・加藤勝行・森地重暉と共著)—第9回地震工学研究発表会講演概要, 45~46, 1967. 10.

岩盤地帯における地震観測 (田村重四郎・加藤勝行・藤原長司・水越達雄と共著)—第2回岩の力学国内シンポジウム講演集, 87~90, 1967. 11.

アースダムの地震時挙動について (田村重四郎・加藤勝行と共著)—土木学会第22回年次学術講演会講演概要, 163-1~163-2, 1967. 5.

Earthquake Ground Motions Observed on Rock Foundations (Coauthor: T. Mizukoshi)—IAEA Panel Discussion Meeting on Aseismic Design and Testing of Nuclear Facilities, 1967. 6.

教授 一色 貞文 (Sadabumi ISSIKI)

放射線透過検査概論—非破壊検査便覧の一部, 日刊工業新聞社, 1967. 5.

教授 大井光四郎 (Koshiro Oi, Professor)

ひずみ計を用いた背たけの低い圧縮型荷重計について—機械学会東京講演会前刷, 1967.

10.

ひずみの定義その他—機械工学便覧第4編, 4, 日本機械学会, 1967. 8.

教授 鳥飼 安生 (Yasuo TORIKAI)

誘導ブリュアン散乱による液体の音速の測定(根岸勝雄・山崎正之と共著)—日本音響学会講演論文集, 193~194, 1967. 5.

Hypersonic Velocity Measurements in Ethanol-Water Mixture (coauthors: Katsuo Negishi・Masayuki Yamazaki)—Japan. J. Appl. Phys. 6, 8, 1016, 1967. 8.

エタノール水溶液の Hypersonic Velocity (根岸勝雄・山崎正之と共著)—応用物理学会講演予稿集, 357, 1967. 10.

金属材料の塑性変形に及ぼす超音波の影響(第1報) 銅の圧縮試験(山田嘉昭・藤森聰雄・山本昌孝と共著)—日本音響学会講演論文集, 173~174, 1967. 11.

超音波による光の回折の理論—多重回折法による計算—(能本乙彦と共著)—日本音響学会講演論文集, 303~304, 1967. 11.

減衰性媒質における近距離音場—日本音響学会講演論文集, 305~306, 1967. 11.

誘導ブリュアン散乱と Hypersonic Velocity (根岸勝雄・山崎正之と共著)—音波の物性と化学討論会講演論文集, 75~78, 1967. 11.

教授 富永 五郎 (Goroh TOMINAGA)

Mean Adsorption Time of Oil Molecules Used in Vacuum Techniques—Nuovo Cimento, Suppl. 5, 1967. 274~283.

教授 山田 嘉昭 (Yoshiaki YAMADA)

絞り成形加工に関する最近の研究動向—プレス技術, 5, 6, 5~11, 1967. 6.

塑性変形の基本的な考え方—金属材料, 7, 5, 2~5, 1967. 5.

モアレ法によるひずみ測定(西本勇三と共著)—金属材料, 7, 5, 159~164, 1967. 5.

塑性変形解析手法の最近の進歩から—塑性と加工, 8, 76, 221~2, 1967. 5.

モアレ法による塑性ひずみ測定の可能性—機械の研究, 19, 8, 1047~1054, 1967. 8.

格子焼付け法とモアレ(輪竹千三郎・西本勇三と共著)—塑性と加工, 8, 83, 669~677, 1967. 12.

材料の高速試験に関する研究(輪竹千三郎・沢田孚夫と共著)—塑性と加工, 9, 84, 55~63, 1968. 1.

超音波の塑性加工への応用(藤森聰雄・山本昌孝と共著)—近代機械, 2, 2, 12~27, 1968. 2.

超音波が金属の塑性変形におよぼす作用について(山本昌孝・藤森聰雄・鳥飼安生と共著)—第18回塑性加工連合講演会論文集, 227~230, 1967. 11.

塑性域における応力—ひずみマトリックスとその弾塑性問題への応用(吉村信敏・桜井達美と共著)—第18回塑性加工連合講演会論文集, 231~234, 1967. 11.

モアレ法によるバルジ試験の曲率と伸びの測定(花井 諭・西本勇三と共著)—第 18 回
塑性加工連合講演会論文集, 41~44, 1967. 11.

Analysis of the Bore Expanding Test by the Incremental Theory of Plasticity (Coauthor: M. Koide)—Int. J. mech. Sci., 10, 1~14, 1968. 1.

平面応力場の解析について(吉村信敏と共著)—コンピュータ使用によるマトリックス構造解析講習会テキスト, 55~74, 1968. 3.

教授 北川 英夫 (Hideo KITAGAWA)

非対称X線回折図形のピークの位置決定について(松本年男と共著)—日本材料学会, X
線材料強度シンポジウム講演前刷, 1967. 11.

巨視的疲れき裂の進行特性の解析と応用について—日本学術振興会第 129 委員会講演前
刷, 1968. 2.

不規則変動荷重下の疲れき裂特性—車軸の高周波焼入と疲労強度に関する研究, 鉄道技
術協会, 1968. 3.

疲れき裂の特性におよぼす残留応力の影響—車軸の高周波焼入と疲労強度に関する研
究, 鉄道技術協会, 1968. 3.

教授 森 大吉郎 (Daikichiro MORI)

M型ロケット発射装置(高木乙磨・中西大郎・松本文友・三上定夫と共著)—三菱技報,
4, 2, 80~85, 1967.

鋼溶接チャンバの開発(安藤良夫・中野 旭と共著)—東京大学宇宙航空研究所報告, 3,
1(B), 201~205, 1967, 3.

ミューロケットの発射装置(三石智・中野 旭と共著)—東京大学宇宙航空研究所報告,
3, 1(B), 206~223, 1967, 3.

わが国の宇宙工学の現状—ステンレス, 11, 1, 7~14, 1967.

助教授 小瀬 輝次 (Teruji OSE)

Photographic Optics—Review Progress of Photography in Japan 54, 日本写真学会
誌 1967.

ホログラフィの技術—再生—応用物理, 36, 9, 718, 1967.

1967 年光学界の展望—物理光学, 干涉, 薄膜—光学—ニュース, No. 95, 5, 1968.

Holographic Auto-Correlator for Complex Function—Application for Optical Transfer
Function: (Coauthors: Kazuya Matsumoto・Ichiro Yamaguchi)—Preprint of U.
S.-Japan Seminar on Holography, Tokyo and Osaka 1967.

助教授 成瀬 文雄 (Humio NARUSE)

円柱のまわりの非粘性流の R_m が小さいときの Hall 効果—日本物理学会第 22 年会
講演予稿集・応用数学力学, 12, 1967. 4.

Magnetic Reynolds 数が小さいときの球の運動に対する Hall 効果—日本物理学会第 12

回応用数学・力学講演会予稿集, 15~16, 1967. 10.

助教授 辻 泰 (Yutaka TUZI)

ガラス製小型真空装置—日本物理学会誌 22, 4, 229~240, 1967. 2.

助教授 根岸 勝雄 (Katsuo NEGISHI)

誘導ブリュアン散乱による液体の音速の測定(鳥飼安生・山崎正之と共著)—日本音響学会講演論文集, 193~194, 1967. 5.

Hypersonic Velocity Measurements in Ethanol-Water Mixture (coauthors: Masayuki Yamazaki and Yasuo Torikai)—Japan. J. Appl. Phys. 6, 8, 1016, 1967. 8.

レーザ光で誘起される衝撃音圧 (山崎正之と共著)—日本音響学会講演論文集, 299~300, 1967. 11.

エタノール水溶液の Hypersonic Velocity (鳥飼安生・山崎正之と共著)—応用物理学会講演予稿集, 357, 1967. 10.

誘導ブリュアン散乱と Hypersonic Velocity (鳥飼安生・山崎正之と共著)—音波の物性と化学討論会論文集, 75~78, 1967. 11.

助教授 本間 禎一 (Teeichi HOMMA)

金属の高温酸化研究の方法論的検討 (1) 吸収電子測定法の応用と問題点 (一色貞文・米岡俊明と共著)—日本金属学会第 60 回大会講演概要, 102, 1967. 4.

表面欠陥構造と反応性に関する一考察—日本金属学会第 61 回大会シンポジウム講演予稿集, 181, 1967. 10.

放射線回折分析—非破壊検査便覧分担, 360~379, 日刊工業新聞社, 1967. 5.

助教授 小倉 磐夫 (Iwao OGURA)

ホログラフィの技術, 光源—応用物理 36, 9, 715, 1967.

気体レーザー—応用物理 36, 9, 739, 1967.

ガスレーザの使い方, 光学的調整法—応用物理 37, 3, 255, 1968.

助教授 田村重四郎 (Choshiro TAMURA)

岩盤地帯における地震観測(岡本舜三・加藤勝行・藤原長司・水越達雄と共著)—第 2 回岩の力学国内シンポジウム講演集, 87~90, 1967. 11.

軟弱地盤内における管道の動的挙動(岡本舜三・加藤勝行・森地重暉と共著)—第 9 回地震工学研究発表会講演概要, 45~46, 1967. 10.

アースダムの地震時挙動について(岡本舜三・加藤勝行と共著)—土木学会第 22 回学術講演会講演概要, 163-1~163-2, 1967. 5.

助教授 中桐 滋 (Shigeru NAKAGIRI)

短形板の剪断挫屈後の挙動(鶴戸口英善と共著)—日本機械学会第 44 期通常総会講演会論文集, 273~276, 1967. 4.

矩形平板の剪断挫屈後の挙動(鶴戸口英善と共著)—第 17 回応用力学連合講演会論文抄録集, 73~74, 1967. 10.

講 師 岡田 恒男 (Tuneo OKADA)

水平繰返し荷重を受ける鉄筋コンクリート柱の変形性状 I および II (窪田敏行と共著)—日本建築学会関東支部学術研究発表会梗概集, 第 38 回第 1 部, 457~464, 1967. 6.
鉄筋コンクリート柱の変形に関する研究 II および III (水平繰返し荷重時の曲率分布その 1 および 2)(窪田敏行と共著)—日本建築学会論文報告集号外, 328~329, 1967. 10.

助 手 輪竹千三郎 (Senzaburo WATAKE)

プレスの静的および動的特性の研究(山田嘉昭と共著)—塑性と加工, 8, 82, 639~645, 1967. 11.

助 手 森地 重暉 (Sigeaki MORICHI)

Two-Dimensional Photoelastic Experiment Made by Gelatine Gel. (Coauthor: M. Yamamoto)—Transactions of The Japan Society of Civil Engineers No. 144, 39~47, 1967. 8.

第 2 部

教 授 鈴木 弘 (Hiromu SUZUKI)

Turks Head による角線の引抜の研究 (第 1 報, 引抜応力解析) (荒木甚一郎と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 113, 1967. 11.

Turks Heads による角線の引抜の研究 (第 2 報, 引抜条件を変えた場合の実験的研究) (荒木甚一郎と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 117, 1967. 11.

薄板圧延における幅方向肉厚分布に関する一考察(本城 恒と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 257, 1967. 11.

タンデム圧延の総合特性 (第 1 報, 圧延機の剛性が圧延条件と製品の形状との関係に及ぼす影響) (阿高松男と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 261, 1967, 11.

タンデム圧延の総合特性 (第 2 報, タンデム圧延の加減速度時の総合特性の解析) (阿高松男と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 265, 1967. 11.

圧延シュミレータによる圧下力解析(矢吹 豊・市原幸則と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 277, 1967, 11.

ロールフォーミングに関する実験的研究 (第 1 報, 基本的断面形状に関する実験(1)) (木内 学・中島 聰と共著)—第 18 回塑性加工連合講演会講演論文集, 313, 1967.

11. 精密圧延—塑性と加工, 8, 75, 163.

タンデム圧延機のパススケジュールの新しい計算法 (第 1 報) (鎌田正誠と共著)—塑性と加工(日本塑性加工学会誌), 5, 80, 460.

タンデム圧延機のパススケジュールの新しい計算法(第2報)(鎌田正誠と共著)—塑性
と加工, 9, 85, 86.

教授 平尾 収 (Osamu HIRAO)

自動車の安全問題について—機械学会誌 70, 584.

教授 亘理 厚 (Atsushi WATARI)

安定性に及ぼす減衰の影響—自動車技術会総会講演会前刷, 1967. 5.

Aseismic Design of Piping Systems in Power and Chemical Engineering Plants
(Coauthors: Fujii · Shibata · Iguchi · Sato)—JSME SEMI-INTERNATIONAL
SYMPOSIUM, 1967. 9.

教授 水町 長生 (Nagao MIZUMACHI)

ラジアルガスタービンの研究(No. 2—2)(遠藤敏彦・鉢嶺清彦・吉田義章・北野正夫と
共著)—日本機械学会ガスタービン研究分科会研究成果報告書, 日本機械学会, 1967.
4. 28.

教授 松永 正久 (Masahisa MATSUNAGA)

Theory and Experiments on Centrifugal Barrel Finishing—Int. Jour. Prod. Res. 5.
4, 274, 1967. 4.

微小切削分科会活動の概要—精機学会関西地方定期学術講演会前刷, 139, 1967. 7. 無
電解メッキの電子顕微鏡による観察(萩生田善明・他1名と共著)—金属表面技術協会第
36回学術講演会前刷, 56, 1967. 11.

Application of Electrical Contact Resistance Measurements on Studies of Friction
and Wear—Bulletin of Japan Society of Precision Engineering 4, 3, 222 1967. 11.

教授 大島康次郎 (Yasujiro OSHIMA)

レーザー利用光学式変位検出器(木村浩哉ほかと共著)—計測自動制御学会学術講演会予稿
集 6, 473, 1967. 10.

壁付着型流体論理素子の切替特性の改善について(松本義雄と共著)—計測自動制御学会
学術講演会予稿集 6, 251, 1967. 10.

監訳, トラクサル著, 自動制御計画法, 下巻—近代科学社, 1968. 1.

新版, 油圧技術便覧—日刊工業, 384~406, 1967. 12.

工作機械用高精度自動定位装置の研究(亀井・木村ほかと共著)—精密機械, 33, 12, 809
~814, 1967. 12.

教授 石原 智男 (Tomo-o ISHIHARA)

ターボ式流体伝動装置の非正常特性, 第3報(斎藤治彦と共著)—日本機械学会第768回
講演会前刷, 1967. 5.

圧力調整弁の静特性に関する研究(水野清史・外2名と共著)—日本機械学会第768回講

演会前刷, 1967. 5.

圧力調整弁の動特性に関する研究(小嶋英一と共著)—日本機械学会第768回講演会前刷, 1967. 5.

流体継手の性能(古屋七郎・森恒と共著)—機械学会論文集 33, 254, 1640, 1967. 10.

流体伝動装置の設計(高木 猛・石原貞男と共著)—オーム社機械設計シリーズ, 1967. 12.

Torque Converter as a Vibrator Damper and the Transient Characteristics (Coauthor: Richard I. Emori)—SAE Transactions Paper 75, 660368, 1967.

教授 高橋 幸伯 (Yukinori TAKAHASHI)

船舶の耐航性に関する実船試験(田宮真ほかと共著)—日本造船研究協会報告, 64, 1968. 3.

Report of I. S. S. C. Commit. 2b-II on "Wave Loads-Full Scale Statistical" (Coauthor: R. Bennet)—Proc. of the 3rd International Ship Structures Congress-Oslo 1967, 1, 89~114, 1967. 9.

Report of I. S. S. C. Commit. 6 on "Experimental Apparatus" (Coauthor: A. J. Johnson)— Ditto. II, 337~361, 1967. 9.

教授 植村 恒義 (Tsuneyoshi UYEMURA)

プリズム式高速度カメラの光学系に関する研究(篠山伸弥と共著)—第14回応用物理学関係連合講演会予稿集, 138~139, 1967. 4

高速度写真による犬の咽喉部筋肉の運動解析(山本芳孝, 東大医学部・切替一郎・井上鉄蔵と共著)—第14回応用物理学関係連合講演会予稿集, 146~147, 1967. 4

高速度写真による原子炉要素の安全性に関する研究(第1報)(山本芳孝・原子燃料公社・中村康治・植松邦彦・熊岡祥雄と共著)—第14回応用物理学関係連合講演会予稿集, 148~149, 1967. 4.

レーザ加工と電子ビーム加工について(宮崎俊行と共著)—第14回応用物理学関係連合講演会予稿集, 155~156, 1967. 4.

ロケットの光学的追跡に関する研究(第14報)(金沢和夫・田中勝也・喜久里豊・小西勇栄楽正光と共著)—第14回応用物理学関係連合講演会予稿集, 157~158, 1967. 7.

プリズム式高速度カメラの光学系に関する研究(篠山伸弥と共著)—昭和42年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 91~92, 1967. 4.

高速度写真による原子炉要素の安全性に関する研究(第1報)(山本芳孝, 原子燃料公社・中村康治・植松邦彦・熊岡祥雄と共著)—昭和42年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 93~94.

ロケットの光学的追跡に関する研究(第9報)(伊藤寛治・田中勝也・金沢和夫・喜久里豊・小西勇と共著)—昭和42年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 95~96, 1967. 4.

レーザ加工と電子ビーム加工について(宮崎俊行と共著)—昭和42年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 121~122, 1967. 4.

高速度回転体の研究(吉沢 徹と共著)—昭和42年山梨地方講演会前刷, 81~86, 1967. 10.

教授 竹中 規雄 (Norio TAKENAKA)

A Study on the Grinding Resistance Force on Single Grit—Proceeding of International Conference on Manufacturing Technology, 617, ASTM, 1968. 9.

教授 田宮 真 (Shin TAMIYA)

二重壁ケーソンの静的安定性(矢村家利と共著)—造船協会誌, 459, 359, 造船協会, 1967. 9.

船舶の耐航性に関する実船試験(高橋幸伯他と共著)—造船研究協会報告, 64, 日本造船研究協会, 1968. 3.

助教授 柴田 碧 (Heki SHIBATA)

耐震設計(機器・配管系)—機械の研究, 19, 173, 1. 1967. 1, 19, 2, 311, 1967. 2. 原子炉とその配管系の耐震設計—日本材料学会耐震設計に関する講習会資料, 71, 1967. 2.

振動試験法(試験施設)—日本機械学会振動測定振動診断法講習会資料, 71, 1967. 2. 転換炉の中性子分布からみた炉心構成の最適化(原文雄と共著)—日本原子力学会年会前刷, p. 149, 1967. 4.

機械系の耐震設計のための地震工学—日本機械学会誌, 70, 579, 521, 1967. 4.

連続体の振動衝撃—機械工学年鑑, 33, 1967. 7.

機械系の耐震設計—配管の振動解析と応答理論(佐藤壽芳と共著)—高圧力, 5, 4, 1058, 1967. 8.

閉回路テレビジョンによる多チャンネル動変位測定装置について—自動制御連合講演会前刷, 335, 1967. 11.

耐震設計と安全性(動力炉の安全性)—原子力学会誌, 10, 1, 23, 1968. 1.

遷移行列法による構造物の振動解析—日本鋼構造協会誌, 3, 24, 71, 1967. 12, 4, 26, 48, 1968. 2.

The Recent Experimental Works in Japan for Earthquake Resistant Piping Systems in Power Plants (Couthor: S. Fujii)—IAEA Panel Meeting on Aseismic Design and Testing of Nuclear Facilities. 16.

Theoretical Foundations for the Design of Earthquake Resistant Mechanical Structures (Couthor: S. Fujii)—同上, 19.

Aseismic Design of Piping Systems in Power and Chemical Engineering Plants (Couthor: A. Watari)—Japan Society of Mechanical Engineering 1967 Semi-International Symposium, 215, 1967. 9.

助教 森 政弘 (Masahiro MORI)

精糖用真空結晶かんの特性と制御 (梅谷陽二と共著)—計測と制御, 6, 11, 771~781, 1967. 11.

制御システム設計のための基本的 100 項目の提案—第 6 回計測自動制御学会学術講演会予稿集, 285~286, 1967. 10.

生体機能をもつフィードバック制御系の一考察(合田周平・細川 彰と共著)—第10回自動制御連合会講演会前刷, 69~70, 1967. 11.

マニピュレータ(村上公克と共著)—人間工学, 3, 2, 131~135, 1967. 4.

プロセスオートメーションのシステム計画(梅谷陽二と共著)—機械の研究, 20, 1, 190~194, 1968. 1.

バイオニスク (合田周平と共著)—33, 10, 625~632, 精機学会誌, 1967.

将来のオートメーションの考え方—プロセスオートメーション—電子工業月報, 10, 1, 37~58, 1968. 1.

指・手・足・運動(村上公克と共著)—数理科学, 57, 28~31, 1968. 3.

Dynamic Characteristics of Vacuum Pan and Control Systems of Boiling Process (Coauthor: Yoji Umetani)—Preprint of International Society of Sugar Cane Technologists 13th Congress, 1968. 3.

システムの能力とシステム工学—自然, 23, 1, 33~44, 1968. 1.

助教 川井 忠彦 (Tadahiko KAWA)

マトリックス法による船体構造解析に関する研究 (II)—造船協会論文集, 121, 150~156, 1967. 6.

有限要素法による連続体の固有振動数の解析—日本機械学会講演論文集, 177, 213~216, 1967. 10.

助教 佐藤 壽芳 (Hisayoshi SATO)

An Experimental Study on the Effect of Machine Tool Vibration on Surface Finish (Coauthor: N. H. Cook)—M. I. T. Report, 1967. 6.

助教 大野 進一 (Shinichi OHNO)

研削における振動(第 2 報)—日本機械学会講演論文集, 168, 5, 1967. 4.

講師 梅谷 陽二 (Yoji UMETANI)

精糖用真空結晶かんの特性と制御—計測と制御, 6, 11, 1967.

Dynamic Characteristics of Vacuum Pan and Control Systems of Boiling Process (Coauthor: M. Mori)—13th International Society of Sugar Cane Technologists, Congress, Preprint. 1968. 3.

講師 荒木 献次 (Kenji ARAKI)

高圧空気圧サーボ機構の案内弁サーボモータ動特性—日本機械学会創立 70 周年記念北海道地区講演会前刷, 173, 95~98, 1967. 8.

高圧サーボ機構における案内弁の非線形性の及ぼす影響—第 6 回計測自動制御学術講演会前刷, 339~340, 1967. 10.

油圧サーボ用機器の現状と将来について—油圧技術, 6, 11, 33~41, 日本工業出版, 1967. 11.

助手 合田 周平 (Shiyuhei AIDA)

閾値制御パルスによる編組回路—昭和 42 年度, 電子通信学会全国大会前刷, 145, 1967. 10.

非線形素子 IMICTRON による学習機構—昭和 42 年度, 自動制御連合講演会, 108, 1968. 11.

生体機能をもつフィード・バック制御系の一考察—(森・細川と共著)—同上, 136.

バイオニクス—生体機能の自動制御への導入について (森と共著)—日本精密機械学会誌, 精密機械 33, 10, 1967. 10.

神経系の機能をもつ制御方, 電子通信学会, 日本 ME 学会, 医用電子, 生体工学研究会資料 MBE 67-2 b, 1967. 1.

IMICTRON Modulated Learning Control Systems—Proceedings of Hawaii International Conference on System Sciences, 1968. 1 (第 1 回国際システム科学会議論文集).

オートマン理論とシーケンス制御—計測自動制御学会, 新制御理論に関係したトピックス講習会テキスト, 1968. 2.

未来のコンピュータ, ロボット工学, 1968. 2.

第 3 部

教授 故 藤高 周平 (Shuheiji FUJITAKA)

漏れ電流間歇測定によるかいしの汚損監視について(藤田良雄と共著)—昭和 42 年電気学会連合大会論文集, 1044, 1967. 4.

Report on the Lightning Flash Counter Measurement for the 1966 Lightning Season in Japan (Coauthors: T. Kawamura, Y. Hirose, S. Tsurumi, K. Kinoshita)—CIGRE Study Committee No. 8, Lightning and Surges, Working Group: Lightning Flash Counter, 1967. 6.

Thunderstorm Alarm System using the Lightning Flash Counter developed by

Shikoku Electric Power Co. (Coauthr: T. Kawamura)—CIGRE Study Committee No. 8, Lightning and Surges, Working Group: Lightning Flash Counter, 1967. 6.
Japanese Method of Artificial Pollution Test on Insulators (Coauthors: T. Kawamura · S. Tsurumi, H. Kondo · T. Seta · M. Yamamoto)—Winter Power Meeting of the IEEE, 31 TP 67—481, 1967. 7.

モデルによる汚損面の吸湿，漏れ電流および閃絡電圧の相関（伊坂勝生と共著）—昭和 42 年電気学会東京支部大会論文集，250，1967. 10.

1967 年 IEC 会議出席報告—電気学会雑誌，87，11，2098，1967. 11.

微小磁鋼片による鉄塔分流比のモデル試験（河村達雄 · 北条準一 · 大平矩史と共著）—昭和 43 年電気 4 学会連合大会論文集，950，1968. 3.

教授 沢井善三郎 (Zenzaburo SAWAI)

逆起電力法による直流電動機速度制御の方式（稲葉 博 · 里和 武と共著）—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集 526，1967. 4.

電磁誘導といの設計に関する基礎的考察（川瀬太郎と共著）—電気学会雑誌 87，8，1582～1590，1968.

オートメーションの考え方，進め方—電気学会雑誌 87，7，1206—1272，1968.

教授 森脇 義雄 (Yoshio MORIWAKI)

並列構成を併用した多段遅延線路記憶式波高分析器（高羽禎雄 · 木下英実と共著）—昭和 42 年電気 4 学会連合大会講演論文集，522，1967. 4.

パルス列発生器を用いた A-D 変換特性の直視測定（高羽禎雄 · 久保卓蔵と共著）—昭和 42 年電気 4 学会連合大会講演論文集，2683，1967. 4.

MOS 形 FET を用いた電圧保持回路（高羽禎雄 · 木下英実と共著）—電子技術，9，7，60，1967. 7.

有限オートマトンの状態遷移構造（河田 汎と共著）—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会（昭和 42 年度）論文集，5，1967. 10.

MOS 形 FET を用いた A-D 変換器（高羽禎雄 · 西森武弘と共著）—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会（昭和 42 年度）論文集，908，1967. 10.

カットポイント・アレーの合成（渡辺 貞と共著）—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会（昭和 42 年度）論文集，999，1967. 10.

NRZ 形磁気ひずみ遅延線記憶方式における記号間干渉の一表現法について（高羽禎雄 · 木下英実と共著）—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集，1747，1968. 3.

相補形 MOS-FET を用いた低出力インピーダンス増幅回路（高羽禎雄 · 西森武弘と共著）—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集，1768，1967. 10.

パルス分配式多チャネル波高分析器の計数損率（高羽禎雄 · 生沼徳二と共著）—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集，1805，1968. 3.

教授 齋藤 成文 (Shigebumi SAITO)

- GaAs Pockels定数の分散について (小関 健と共著)—電気四学会連合大会, 1967. 4.
超高压無接触無導体変流器 (浜崎襄二・藤井陽一・横山幸嗣・大野 豊と共著)—電気四学会連合大会, 1967. 4.
マイクロ波を利用した超高压用変流器 (喜連川 隆・中原昭次郎・立川清兵衛と共著)—電気四学会連合大会, 1967. 4.
東京大学におけるスペースエレクトロニクスの開発研究 (高木 昇・野村民也と共著)—電子通信学会誌, 1967. 6.
Development of the Laser Current Transformer for Extra-High-Voltage Power Transmission Lines (Coauthors: J. Hamasaki・Y・Fujii, K. Yokoyama・Y. Ohno)—Presented Conference on Laser Engineering and Applications, 1967. 6.
光変調素子としての GaAs (小関 健と共著)—電子通信学会, 量子エレクトロニクス 1967. 6.
ロケット搭載アンテナおよびロケット追尾用アンテナ (長谷部望・市川 満と共著)—通信学会研究会, 全国大会シンポジウム, 1967. 10.
レーザおよび光エレクトロニクス (藤井陽一と共著)—通信学会誌, 1967. 10.
量子エレクトロニクス技術の導入 (藤井陽一と共著)—電気学会誌, 1967. 6.

教授 尾上 守夫 (Morio ONOE)

- メカニカル分波器 (矢野健と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会, No. 1224, 1967. 4.
多重モード水晶フィルタ—昭和 42 年電気四学会連合大会, S. 6—6, 1967. 4.
屈曲-たて-屈曲三重モード圧電振動子 (高岡 禎と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会, No. 1234, 1967. 4. 30.
等価伝送線によるエネルギーとじこめ形多重モード・フィルタの解析 (十文字弘道と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会, No. 1233, 1967. 4.
VHF 水晶振動子の定数測定 (熊谷雅と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会, No. 1244, 1967. 4.
結晶中の超音波による光のブラッグ反射 (渡辺誠一と共著)—音響学会講演論文集, No. 2—1—18, 1967. 5. 14.
非軸対称厚み滑り振動の解析 (望月雄蔵と共著)—音響学会講演論文集, No. 1—1—3, 1967. 5. 14.
高インピーダンス圧電セラミック振動子 (十文字弘道・村田栄一郎と共著)—音響学会講演論文集, No. 1—1—6, 1967. 5. 14.
たて・屈曲多重モード振動子の振動解析 (十文字弘道と共著)—音響学会講演論文集, No. 1—1—7, 1967. 5. 14.
渦流検査用コイルの結合係数 (市川初男と共著)—非破壊検査 16, 2, III-2, 70, 1967. 2.

- 渦流検査用回路に関する考察—非破壊検査 16, 2, III-3, 71, 1967. 2.
- 光弾性超音波遅延回路 (渡辺誠一と共著)—超音波研究会資料, US-67—4 (1967—05), 1967. 5. 14.
- エレクトロ・メカニカル分波器 (矢野健と共著)—回路とシステム理論研究会資料 CTST 67—5, 1967. 5. 23.
- 高結合セラミック振動子の測定法 (十文字弘道と共著)—電気通信学会誌 50, 5, 908—913, 1967. 5.
- 超音波に関する図書紹介—非破壊検査 15, 11, 457—459. 1966.
- Useful Formulas for Piezoelectric Ceramic Resonators and Their Application to Measurement of Parameters (Coauthor: Hiromichi, JUMONJI) —J. Acoust. Soc. Am. 41, 4 (pt. 2), 974—980, 1967. 4.
- 円板の屈曲振動の解析 (矢野 健と共著)—超音波研究会資料 US 67—11, 1967. 9. 21.
- 多重モードフィルタ—電気関係学会東北支部連合大会 S—1, 1967. 10.
- 円板厚み滑り振動子の等価インダクタンス (望月雄蔵と共著)—昭和 42 年電子通信学会全国大会, No. 200, 1967. 10. 21.
- エネルギーとじこめ形 VHF 多重モードフィルタ (熊谷 雅と共著)—昭和 42 年電子通信学会全国大会, No. 201, 1967. 10. 21.
- 多通過域多重モードフィルタ (高岡 禎と共著)—昭和42年電子通信学会全国大会, No. 202, 1967. 10. 21.
- 副共振に関する二三の実験 (高木幹雄・十文字弘道・熊谷 雅・藤本 洋と共著)—昭和 42 年電子通信学会全国大会, No. 205, 1967. 10. 21.
- 導体に近接した有限長コイルの解析—昭和 42 年電子通信学会全国大会, No. 352, 1967. 10. 21.
- たて・屈曲多重モード振動子の振動解析 (十文字弘道と共著)—超音波研究会資料, US 67—13, 1967. 10. 19.
- CdS-水晶複合振動子の解析 (渡辺誠一と共著)—日本音響学会講演論文集, No. 1—1—7, 1967. 11.
- たて・屈曲多重モード振動子の変位および電荷分布 (十文字弘道と共著)—日本音響学会講演論文集, No. 1—1—8, 1967. 11.
- 多重モードフィルタの動向—エレクトロニクス 12, 13, 1378—1384, 1967. 12.
- 曲率のある厚みすべり振動子の解析 (岡田勝宏と共著)—超音波研究会, US 67—22, 1968. 2.
- Determination of Elastic and Piezoelectric Constants for Crystals in Class (3m) (Coauthors: A. W. Warner, G. A. Coquin)—J. Acoust. Soc. Am. 42, 1223—1231, 1967. 12.
- 超音波変換素子—電子通信ハンドブック, 430—434 電子通信学会, 1967.
- 超音波探傷の基礎—日本非破壊検査協会超音波技術講習会テキスト, 1967. 10.

結合係数の大きい材料の測定—超音波技術便覧，改訂新版，1501～1506（日刊工業新聞社，1966）。

圧電記号の対照—超音波技術便覧室，改訂新版，1495～1500（日刊工業新聞社，1966）。

教授 安達 芳夫 (Yoshio ADACHI)

MOS 形 FET の低周波雑音特性の温度依存性(松下孟史・上村幸守と共著)—電子通信学会全国大会講演論文集(昭和 42 年度)，758，1967. 10.

MOS 形電界効果トランジスタの低周波雑音について(松下孟史・上村幸守と共著)—電気学会トランジスタ専門委員会資料，42—17，1967. 10.

MOS トランジスタの低周波雑音について(第二報)(松下孟史・上村幸守と共著)—電気学会トランジスタ専門委員会資料，42—26，1968. 2.

教授 渡辺 勝 (Masaru WATANABE)

論理回路の故障点指摘用テストパターンの作製プログラムシステム(松本正勝と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会論文集，2890，1967. 4.

連想記憶の動作とそのシミュレーション(荒木 宏と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会論文集，2894，1967. 4.

論理回路の故障診断用最適ラスト・パターン抽出プログラム(杉本正勝・野村邦彦と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会論文集，2748，1967. 4.

モジュール化された論理回路の故障診断用テスト・パターン作成法—MTR 法(杉本正勝・小野寺 隆と共著)—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会。

教授 浜崎 襄二 (Joji HAMASAKI)

1000 Mc の帯域幅を有するトランジスタビデオ増幅器の試作(岡田三男と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集，1392，1967. 2.

広帯域 3 db 方向性結合器における不連続部漂遊リアクタンスの効果(赤尾宗一と共著)—昭和 42 年度四学会連合大会講演論文集，1460，1967. 4.

プリント回路を応用した偏波状態変換用電力分配器(座間知之・市川満と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集，1459，1967. 4.

フェライト磁心を用いた小型 VHF-UHF 帯方向性結合器(岡田三男と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集，1307，1968. 3.

最平坦通過特性の帯域遮断 1/4 波長ストリップ線路濾波器(赤尾宗一と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集，1338，1968. 3.

多重光路を利用した低磁界の光サーキュレータ(滝野孝則と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集，1407，1968. 3.

ホログラムによる再生波面の信号対雑音比—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集，1365，1968. 3.

パラメトリック増増器便覧，第 2 章，第 3 章の一部—電気学会編，オーム社，昭 42.

助教授 河村 達雄 (Tatsuo KAWAMURA)

急峻波測定におけるレスポンス時間の解析—昭和 42 年電気四学会連合大会論文集, 1014, 1967. 4.

Report on the Lightning Flash Counter Measurement for the 1966 Lightning Season in Japan: (Coauthors: S. Fujitaka, Y. Hirose, S. Tsurumi, K. Kinoshita)—CIGRE Study Committee No. 8, Lightning and Surges, Working Group: Lightning Flash Counter, 1967. 6.

Thunderstorm Alarm System using the Lightning Flash Counter developed by Shikoku Electric Power Co. (Coauthor: S. Fujitaka)—CIGRE Study Committee No. 8, Lightning and Surges, Working Group: Lightning Flash Counter, 1967. 6.

雷観測地図による襲雷日数算定の—方法—雷害事故調査委員会報告資料, 1967. 6.

Japanese Method of Artificial Pollution Test on Insulators (Coauthors: S. Fujitaka, S. Tsurumi, H. Kondo, T. Seta, M. Yamamoto)—Summer Power Meeting of the IEEE, 1967. 7.

急峻波測定系における不均一導線の解析—昭和 42 年電気学会東京支部大会論文集, 247, 1967. 10.

Step Response of Measuring Systems for High Impulse Voltages (Coauthors: F. C. Creed, G. Newi)—IEEE Transactions on Power Apparatus and Systems PAS-86, 11, 1408, 1967. 11.

Anomalous Electron Heating in an Adiabatic Compression Experiment (Coauthor: H. de Kluiver)—Physics of Fluids, 10, 12, 2715, 1967. 12.

微小磁鋼片による鉄塔分流比のモデル試験 (藤高周平・北条準一・大平矩史と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会論文集, 950, 1968. 3.

助教授 山口 楠雄 (Kusuo YAMAGUCHI)

デジタル・アナログ方式によるハイブリッドタイマ (鈴木俊光と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集, No. 2672, 1967. 4.

光束面積変化方式による溶液色価連続測定装置 (桜井正郎と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集, No. 2531, 1967. 4.

デジタル・アナログ方式によるハイブリッドタイマ (第 2 報) (鈴木俊光・畠中俊郎と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, No. 2439, 1968. 3.

光束面積変化方式による溶液色価連続測定装置 (第二報) (桜井正郎と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, No. 2277, 1968. 3.

助教授 高羽 禎雄 (Sadao TAKABA)

並列構成を併用した多段遅延線路記憶式波高分析器 (森脇義雄・木下英実と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集, 522, 1967. 4.

- パルス列発生器を用いた A-D 変換特性の直視測定 (森脇義雄・久保卓蔵と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集, 2683, 1967. 4.
- MOS 形 FET を用いた A-D 変換器 (森脇義雄・西森武弘と共著)—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会 (昭和 42 年度) 講演論文集.
- Multistage Delay Line Systems and Their Application to Multi-Channel Pulse Height Analyzer Featuring Short Dead Time—Nuclear Instruments and Methods, 58, 2, 223, 1968. 1.
- NRZ 形磁気ひずみ遅延線路記憶方式における記号間干渉の 1 表現法について (森脇義雄・木下英夷と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, 1747, 1968. 3.
- 相補形 MOS-FET を用いた低出力インピーダンス増幅回路 (森脇義雄・西森武弘と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, 1767, 1968. 3.
- パルス分配式多チャンネル波高分析器の計数損率 (森脇義雄・生沼徳二と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, 1805, 1968. 3.
- 解析および関数方程式—電子通信ハンドブック, 第 1 編, 数学・数表, 1・2, 1・3 を分担執筆, 1967. 8.
- パルス回路およびデジタル回路—電気工学年報昭和 42 年度版, 4・2, 4・3 を分担執筆, 1968. 12.

助教授 安田 靖彦 (Yasuhiko YASUDA)

- 符号化と符号理論講習会—符号理論のテレメータへの応用, 1967. 2, 3~4, 日刊工業新聞社.
- 符号化位相同期通信方式における信号波形の構成について—電気通信学会インホームション理論研究会資料, 1967. 2. 24.
- 符号化位相同期通信方式について—電気四学会連合大会講演論文集, 2298, 1967. 4.
- PCM 信号の位相同期三相 PSK による搬送波伝送方式 (野辺田繁と共著)—電気四学会連合大会講演論文集, 2299, 1967. 4.
- テレメータデータ圧縮伝送の一方式 (村田悠紀夫・野辺田繁・関 勝彦と共著)—電気四学会連合大会講演論文集, 2393, 1967. 4.
- 二相変調波の検波方式に関する一考察 (野辺田繁と共著)—電気通信学会全国大会, 1274, 1967. 10.
- 無線通信における諸問題—電子通信学会全国大会, S. 12—6, 1967. 10.
- 位相変調に関する二, 三の考察 (野辺田繁と共著)—電子通信学会通信方式研究会資料, 1967. 10. 25.
- 飛しょう体テレメータの現状と将来—計装 10, 10, 6, 1967. 10.

助教授 藤井 陽一 (Yoichi FUJII)

- レーザの情報処理への応用—電子科学 17, 12, 1967. 12.
- 新しい測量機械, 1 レーザの利用—新しい測定技術, 1967. 10.

レーザのトンネル測量への応用—トンネル 1, 2, 1967. 11.
光検出器—電子技術 10, 2, 1968. 2.
ガスレーザの雑音の雑音変調分について(白石 敏・上原信吾と共著)—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会講演論文集, 1967. 10.
ガスレーザの偏光特性(白石 敏と共著)—同上.
レーザを利用する変圧変流器に関する基礎研究(I)(角 豊三・今田 寛・横山幸嗣と共著)—昭和 42 年連合大会講演論文集 3, 1967. 4.
光電子増倍管 C-70045 A のマイクロ波におけるレーザ検波特性(魚谷裕士と共著)—昭和 42 年連合大会講演論文集 3, 1967. 4.
レーザダイオードのマイクロ波インピーダンス(西本博信と共著)—同上.

助教授 高木 幹雄 (Mikio TAKAGI)

データ伝送における歪補償の方式—昭和 42 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 2383, 1967. 5.
フレーム相関によるデジタル情報伝送における同期方式の検討(II)(岡田桂治と共著)—昭和 42 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 2326, 1967. 5.
温度補償水晶発振器の設計法(藤本 洋と共著)—昭和 42 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 1954, 1967. 5.
副共振に関する二三の実験(尾上守夫・十文字弘道・熊谷 雅・藤本 洋と共著)—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会講演論文集, No. 205, 1967. 10.
副共振に起因する水晶発振器の二重発振器の二重共振の一例(藤本 洋と共著)—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会講演論文集, No. 206, 1967. 10.
データ伝送における歪補償方式のシミュレーション—電子通信学会創立 50 周年記念全国大会講演論文集, No. 1030, 1967. 10.
データ伝送における歪補償方式の最適化について(丸山 清と共著)—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 2331, 1968. 3.
データ伝送における歪補償方式の演算精度について(丸山 清と共著)—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 2057, 1968. 3.
温度補償水晶発振器の一考察(藤本 洋と共著)—昭和 43 年度電気四学会連合大会講演論文集, No. 1773, 1968. 3.
渦流検査用デジタル移相器(尾上守夫・市川初男と共著)—非破壊検査 16. 2Ⅲ-2, 70. 1967. 2

助教授 原島 文雄 (Fumio HARASHIMA)

SCR インバータ用直流安定化電源(内田克己と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会講演論文集, 766, 1967. 4.
サイリスタを用いた交流サーボ増幅器—昭和 42 年電気四学会東海支部大会講演論文集, 1967. 11.

- インバータ誘導電動機系の解析—昭和 43 年電気四学会連合大会講演論文集, 1968. 3.
- 講師 長谷部 望 (Nozomu HASEBE)
- L-4S ロケット・ビーコンアンテナ (高木・斎藤他と共著)—東大宇宙研報告, 3, 1, 107, 1967. 3.
- ロケット搭載アンテナおよびロケット追尾用アンテナ(斎藤・市川と共著)—信学会全国大会シンポジウム, S. 7—4, 11, 1967. 10.
- 助手 藤田 良雄 (Yoshio FUJITA)
- 漏れ電流間歇測定によるがいしの汚損監視について(藤高周平と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会論文集, 1044, 1967. 4.
- 助手 北条 準一 (Jiyun-ichi HOJO)
- 微小磁鋼片による鉄塔分流比のモデル試験(藤高周平・河村達雄・大平矩史と共著)—昭和 43 年電気四学会連合大会論文集, 950, 1968. 3.
- 助手 市川 初男 (Hatsuo ICHIKAWA)
- 渦流検査用コイルの結合係数 (尾上守夫と共著)—非破壊検査 16, 2, III-2, 70, 1967. 2.
- 助手 十文字弘道 (Hiromichi JUMONJI)
- 等価伝送線によるエネルギーとじこめ形多重モード・フィルタの解析(尾上守夫と共著)—昭和 42 年電気四学会連合大会, No. 1233, 1967. 4.
- 高インピーダンス圧電セラミック振動子(尾上守夫・村田栄一郎と共著)—音響学会講演論文集, No. 1—1—6, 1967. 5. 14.
- 高結合セラミック振動子の測定法 (尾上守夫と共著)—電気通信学会誌 50, 5, 908~913, 1967. 5.
- 圧電セラミック共振子に関する実用的計算式とそれを使った定数測定法 (尾上守夫と共著)—J. Acoust. Soc. Am. 41, 4, (Pt. 2) 974~980, 1967. 4.
- 副共振に関する二三の実験(尾上守夫・高木幹雄・熊谷 雅・藤本 洋と共著)—昭和42年電子通信学会全国大会, No. 205, 1967. 10. 21.
- たて・屈曲多重モード振動子の振動解析(尾上守夫と共著), 超音波研究会資料, US 67—13, 1967. 10. 19.
- たて・屈曲多重モード振動子の変位および電荷分布(尾上守夫と共著)—日本音響学会講演論文集, No. 1—1—8, 1967. 11.

第 4 部

- 教授 菊池 眞一 (Shin-ichi KIKUCHI)
- 写真の分光増感作用の研究(第5報), 種々のハロゲン化銀に対するシアニン色素の吸着 (谷 忠昭, 早水克行と共著)—工化誌, 70, 1288, 1967.

- 写真の分光増感作用の研究(第6報), 可視吸収スペクトルによるシアニン色素のハロゲン化銀に対する吸着の研究(谷 忠昭と共著)—工化誌, 70, 2203, 1967.
- 写真の分光増感作用の研究(第7報), シアニン色素の吸着に対するハロゲン化銀の格子欠陥部分の影響(谷 忠昭・早水克行と共著)—工化誌, 70, 2210, 1967.
- 写真の分光増感作用の研究(第8報), 写真用減感色素の臭化銀への吸着(谷 忠昭・野瀬武博と共著)—工化誌, 70, 2398, 1967.
- 写真の分光増感作用の研究(第9報), キサンテン系色素の酸化亜鉛への吸着(谷 忠昭・細谷一雄と共著)—工化誌, 70, 2216, 1967.
- 写真の分光増感作用の研究(第10報), メロシアニン色素の臭化銀への吸着(谷 忠昭・野瀬武博と共著)—工化誌, 71, 180, 1968.
- 写真の分光増感作用の研究(第11報), 酸化亜鉛粒子に吸着した感光性色素の電子エネルギー準位の計算と酸化亜鉛の光伝導の分光増感作用の考察(谷 忠昭と共著)—工化誌, 71, 182, 1968.
- 写真の分光増感作用の研究(第12報), ポーラログラフおよび分子軌道法による写真用色素の電子エネルギー準位図の作製(谷 忠昭・本多健一・河村恭子と共著)—工化誌, 71, 37, 1968.
- 写真の分光増感作用の研究(第13報), π 電子エネルギー準位, ポーラログラフ半波電位および励起エネルギーに基づく色素の分光増感作用の考察(谷 忠昭・本多健一と共著)—工化誌, 71, 42, 1968.
- 写真の分光増感作用の研究(第14報), 分子軌道法とポーラログラフに基づくキサンテン系色素の π 電子エネルギー準位の計算と写真作用の考察(谷 忠昭・細谷一雄と共著)—工化誌, 71, 322, 1968.
- Studies of the Adsorption of Photographic Sensitizing and Desensitizing Dyes to Silver Bromide Grains on the Basis of their Visible and Infrared Spectra (Coauthor: Tadaaki TANI)—Bull. Soc. Sci. Phot. Japan, 17, 1, 1967.
- Adsorption of Photosensitive Dyes to Zinc Oxide and Spectral Sensitization of Its Photoconductivity (Coauthor: Tadaaki TANI)—Bull. Soc. Sci. Phot. Japan, 17, 24, 1967.
- Studies of the Photochemistry of Aromatic Diazo Compounds. II. The Electronic Structures of Some p-Substituted Benzenediazonium Cation (Coauthor: Mitsunori SUKIGARA)—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 1077, 1967.
- Studies of the Photochemistry of Aromatic Diazo Compounds. III. The Electronic Structures of Some m-Substituted Benzenediazonium Cations (Coauthor: Mitsunori SUKIGARA)—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 1082, 1967.
- Calculation of the Electronic Structure of Cinnamic Acid by the Semi-empirical LCAO-SCF-MO Method (Coauthor: Kenichiro NAKAMURA)—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 1027, 1967.

Studies of Photosensitive Resins. II. The Electron Spin Resonance Spectra of Light-irradiated Polyvinyl Cinnamate.

ポリビニルアルコールおよびエチルアルコール混合水溶液中での重クロム酸イオンの光分解反応 (佐々木政子と共著)—工化誌, 70, 2107, 1967.

教授 江上 一郎 (Ichiro EGAMI)

プラズマジェット製の製錬への応用, 炭素還元法(第1報) (明石和夫・塚本 博・小倉正夫と共著)—日本鋳業会誌 83, 947, 1405~1407, 1967.

プラズマジェットの応用について(第1報), 単体ボロンの溶融とその二, 三の性質について(明石和夫・塚本 博・小倉正夫と共著)—電気化学協会北陸支部秋季大会講演要旨集, p.10, 1967. 10.

プラズマジェットの応用について(第2報), 炭素還元による金属ニオブの製造 (明石和夫・石塚隆一・小倉正夫と共著)—p.11, 1967. 10.

教授 山辺 武郎 (Takeo YAMABE)

イオン交換膜電気透析における濃度分極現象について(III) 温度および溶媒組成の限界電流密度に対する影響 (山県和子・篠田淳子・妹尾 学と共著)—電気化学, 35, 7, 504, 1967. 7.

イオン交換膜電気透析における濃度分極現象について(IV) 多室電解ソウにおける濃度分極現象(山名正一・山県和子・高井信治・妹尾 学と共著)—電気化学, 35, 8, 578, 1967. 8.

The Concentration Polarization Effect in Ion Exchange Membrane Electrodialysis (Coauthor: Manabu Senō)—Desalination 2, 2, 148, 1967. (Elsevier Publishing Company, Amsterdam)

巨大網状構造型イオン交換樹脂の性質 (山形和子・妹尾 学と共著)—日化誌, 89, 2, 151, 1968. 2.

イオン交換樹脂によるリン鉱石の溶解 (高井信治・堀田勝之と共著)—工化誌, 70, 8, 1305, 1967. 8.

巨大網状イオン交換樹脂による加水分解と加アルコール分解 (鈴木 喬・妹尾 学と共著)—日化誌, 88, 11, 1141, 1967. 11.

Linear Free-Energy Relations(LFER) の不可逆過程熱力学による取り扱い(鈴木 喬・妹尾 学と共著)—日化誌, 89, 2, 136, 1968. 2.

DTA, TGA によるイオン交換分離係数の測定 (鈴木 喬・高井信治と共著)—工化誌, 70, 10, 1839, 1967. 10.

海水処理に対するイオン交換法の応用について(総説)—海水誌, 21, 4, 127, 1967. 12.

教授 野崎 弘 (Hiroshi NOZAKI)

酸化チタンの光電導性にあたる不純物ドーパの影響 (飯田武揚と共著)—工化誌, 70, 1285~1287, 1967.

酸化チタンの中の遷移金属イオン (Fe^{+3} , Co^{+2}) のエネルギー準位 (飯田武揚と共著)—工化誌, 70, 1624~1627, 1967.

On the Study of TiO_2 -Electrofax Behavior (Coauthor: T. Iida)—II International Congress on Reprography. Köln, 1967.

教授 浅原 照三 (Teruzo ASAHARA)

NMR スペクトルによるテロマの構造解析 (呉澄清と共著)—工化誌, 70, 1197, 1967.

The Ionic Telomerization of Conjugated Diene Compounds. II. The Solvent Effects on the Cationic Telomerization of Butadiene with Its Hydrochloride (Coauthor: Hideo, KISE)—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 1941, 1967.

The Ionic Telomerization of Conjugated Diene Compounds. III. The Effects of the Addition of Lewis Bases on the Cationic Telomerization of Butadiene with Its Hydrochlorides (Coauthor: Hideo, KISE)—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 2664, 1967.

金属表面に被覆したメチルエーテル化, メチロールメラミンの挙動 (後藤勇太郎と共著)—金属表面技術, 18, 176, 1967.

電気泳動電着塗装法 (後藤勇太郎と共著)—表面, 5, 502, 1967.

電極反応を用いる重合 (妹尾 学と共著)—有機合成化学, 25, 719, 1967.

塩化ラウリルと水硫化ナトリウムの反応における溶媒効果 (妹尾 学・新井 健と共著)—有機合成化学, 25, 790, 1967.

アクリロニトリルのポーラグラフィ (早野茂夫・妹尾 学・金子秀昭と共著)—電気化学, 35, 882, 1967.

ブタン-1, 2, 3, 4-テトラカルボン酸二無水物からのポリイミドの生成 (福井基雄と共著)—工化誌, 70, 2388, 1967.

$\alpha, \alpha, \alpha, \omega$ -テトラクロルアルカンの熱安定性 (平野二郎と共著)—石油学会誌, 11, 94, 1968.

教授 加藤 正夫 (Masao KATO)

Recent Status of Research and Application of Low-Energy X-and Gamma-Ray Sources in Japan, Proceedings of 2nd Symposium on Low-Energy X-and Gamma Sources and Applications, Austin, Texas, U. S. A 2, 723~745, 1967. 3.

セシウム 137 γ 線の後方散乱について (佐藤・田中・山本と共著)—第4回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 18 p-III-5, 35, 1967. 4.

大量トレーサの均一照射とその放射能の測定 (佐藤ほか3名と共著)—第4回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 19 a-III-4, 76, 1967. 4.

アイソトープ発光器—第4回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 特別講演 I, 115~119, 1967. 4.

Versetzsetzbare Strabenbrücken aus vorgefertigten Aluminiumbauteilen in Japan (Coauthor: Fukuda, Inose)—Aluminium 43, 5, 304~305, 1967. 5.

放射線・放射性同位元素応用 (佐藤と共著)—電子通信ハンドブック, 28 編, 6 部門,
2, 1531~1537, 1967. 8.

水道水中でのアルミニウム合金の動水腐食に関する研究 (井上と共著)—軽金属学会,
41, 1967. 11.

アルミニウム合金の動水腐食に関する 2, 3 の観察 (井上と共著)—軽金属学会パネル討
論会, 1967. 11.

Present Status of Isotope Applications in Japanese Industry—第 8 回日本アイソト
プ会議, C/E-1, 187~189, 1967. 11.

放射性トレーサを利用した電解工場内の電解液の流れについて (佐藤・井上と共著)—
第 8 回日本アイソトープ会議 B/③—7, 1967. 11.

アイソトープのエネルギー利用—第 6 回原子力総合シンポジウム予稿集, 84~87, 1968,
2.

高力アルミ合金の諸性質とその熱処理—最近の高力アルミ合金の加工技術講習会, 日刊
工業新聞社, 1968. 3.

軽合金鋳物試験・検査の実情—軽金属通信, p. 48~54, 1968. 2.

教授 故 雀部 高雄 (Takao SASABE)

ガス還元による鉄 Whisker の生成について (鉄 Whisker の生産に関する研究 I) (大
蔵明光と共著)—鉄と鋼, 53, 4, 1967. 4.

鉄 Whisker の性質について (鉄 Whisker の生産に関する研究 II) (大蔵明光と共著)—
鉄と鋼, 53, 10, 1967. 8.

教授 中村 亦夫 (Matao NAKAMURA)

非ニュートン流動停止後の応力緩和 (第 3 報) (黒岩城雄と共著)—高化誌, 24, 441,
1967. 7.

粘弾性溶液体毛管流の末端補正項 (黒岩城雄と共著)—高化誌, 24, 529, 1967. 8.

定常流下の動的粘性 (黒岩城雄と共著)—高化誌, 24, 807, 1967. 12.

可聴周波用レオメータ (黒岩城雄と共著)—工化誌, 70, 1264, 1967. 7.

The Superposition of Viscoelastic Data for C. M. C (Coauthor: Siroo KUROIWA)
—Bull. Chem. Soc. Japan, 40, 2195. 9.

教授 武藤 義一 (Giichi MUTO)

定電位クーロメトリによる銅板上の薄膜金合金の分析 (高田芳矩らと共著)—分析化学,
16, 3, 206, 1967. 3.

混合溶媒によるハロゲンのイオン交換分離 (高田芳矩らと共著)—日化誌, 88, 4, 432,
1967. 4.

液浸型比色計の試作と応用 (宮下春男らと共著)—分析化学, 16, 9, 946, 1967. 9.

回転ベリリウム電極によるフッ素の電量滴定 (野崎健と共著)—分析化学, 17, 1, 32,

1968. 1.

水銀 (II)-DTPA 錯体を用いる二次定電位クーロメトリ (河口敏雄と共著)—分析化学, 17, 1, 38, 1968. 1.

海水科学の将来—海水学会誌, 20, 6, 301, 1967. 5.

精密電量計の試作とクーロメトリへの応用 (高田芳矩らと共著)—日本化学会三支部合同
上田地方大会講演予稿集, 36, 1967. 9.

機器分析演習 (基礎分析化学講座 12 巻)—共立出版, 1967. 8.

実験装置の自動化 (続実験化学講座 3 巻) (編集および 1, 2 章執筆)—丸善, 1967. 11.

助教授 後藤 信行 (Nobuyuki GOTOH)

ピラゾールアントロンの二, 三の誘導体の合成ならびにその環化 (永井芳男・君島二郎
と共著)—有機合成化学協会誌, 25, 1218, 1967.

3,3'-ジベンゾアントロニルの二, 三の誘導体の合成について (永井芳男・伊藤宣二と共
著)—日本化学会第 20 年会予稿集Ⅲ, 429, 1967.

ポリナフチレン系化合物に関する研究 (第 1 報) 3-ヨードペリレンの合成 (古賀悦之と
共著)—日本化学会第 20 年会予稿集Ⅲ, 435, 1967.

8-クロロおよび 11-クロロベンゾアントロンの合成とその Villmann 反応 (永井芳男・
小川昭二郎と共著)—日本化学会第 20 年会予稿集Ⅳ, 481, 1967.

非対称型ジベンゾアントロニル誘導体の合成 (永井芳男・時田澄男と共著)—日本化学会
第 20 年会予稿集Ⅳ, 482, 1967.

9,9'-ジクロロ・ジベンゾアントロニルの合成 (永井芳男・湯浅健夫と共著).

9-ブromおよび 9,9'-ジブromジベンゾアントロニルの合成 (永井芳男・時田澄男と共
著)—工業化学雑誌, 71, 383, 1968.

6,13-ジクロロキナクリドンならびにそのジメチルおよびジクロロ誘導体の合成 (永井芳
男・西 久夫と共著)—工業化学雑誌, 71, 386, 1968.

助教授 西川 精一 (Seiichi NISHIKAWA)

Cu-Co 合金の時効について (長田・小林と共著)—日本金属学会誌, 32, 4, 1968.

Cu-0.52% Fe 合金の時効初期における比抵抗増加について (長田・小林と共著)—昭和
42 年度春期日本金属学会講演予稿集, p. 193, 1968.

Al-0.3% Zr 合金の析出硬化とその再結晶特性 (小林と共著)—軽金属学会第 33 回秋
期 (42 年) 大会講演概要, p. 25, 1968.

助教授 原 善四郎 (Zenshiro HARA)

金属粉の瞬間抵抗焼結に関する研究 (第 2 報) 鉄粉の抵抗焼結について (坂井徹郎・板
橋正雄と共著)—粉体および粉末冶金, 14, 164, 1967.

助教授 早野 茂夫 (Shigeo HAYANO)

薄層クロマトグラフによるポリオキシエチレンノニルフェノールエーテルの分析 (二本

- 木恒夫・浅原照三と共著)—日本學術振興會染色加工第 120 委員會年次報告, 17, 51~57, 1967.
- アクリルニトリルのポーラログラフィ (浅原照三・妹尾 学・金子秀昭 と共著)—電気化学, 35, 882~886, 1967. 12.
- アミノアントラキノン系分散染料のポーラログラフィ (篠塚則子・松尾四男美と共著)—日本化学会第 20 年会講演要旨集, 2E107, 1967. 4.
- メチレンブルー水溶液の保存法 (佐藤和子・関口剛司と共著)—日本分析化学会第 16 年会講演要旨集, B304, 1967. 10.

助教授 明石 和夫 (Kazuo AKASHI)

- プラズマジェットの製錬への応用, 炭素還元法(第 1 報) (江上一郎・塚本 弘・小倉正夫と共著)—日本鋳業会誌, 83, 947, 1405~1407, 1967.
- 単体ボロンの電解採取, 融解塩電解によるボロンの製造 (第 1 報) (河村和孝と共著)—金属材料技術研究所報告, 10, 2, 21~36, 1967.
- プラズマジェットの応用について (第 1 報) 単体ボロンの溶融とその二, 三の性質について(江上一郎・塚本 弘・小倉正夫と共著)—電気化学協会北陸支部秋季大会講演要旨集, 10, 1967, 10.
- プラズマジェットの応用について (第 2 報) 炭素還元による金属ニオブの製造 (江上一郎・石塚隆一・小倉正夫と共著)—電気化学協会北陸支部秋季大会講演要旨集, p. 11, 1967, 10.

助教授 本多 健一 (Ken-ichi HONDA)

- Photodecomposition Rates of Substituted Benzenediazonium Salts by Photo-polarographic Method (Coauthors: Koichi TOKUDA, Shin-ichi KIKUCHI)—Review of Polarography, 14, 355, 1967.
- Studies on the Electronic Energy Levels of Various Photographic Dyes (Coauthors: Tadaaki TANI, Kyoko KAWAMURA, Shin-ichi KIKUCHI) — International Congress of Photographic Science. Tokyo, 207, 1967.
- 固体-液体界面インピーダンスの研究—NHK 技術研究, 19, 2, 130, 1967.
- 最近の感光材料—化学の領域, 21, 11, 881, 1967.
- ポーラログラフおよび分子軌道法による写真用色素の π 電子エネルギー準位図の作製 (谷 忠昭・河村恭子・菊池眞一と共著)—工化誌, 71, 37, 1968.
- π 電子エネルギー準位ポーラログラフ半波電位および励起エネルギーに基づく色素の分光増感作用の考察 (谷 忠昭・菊池眞一と共著)—工化誌, 71, 42, 1968.
- ポーラログラフィ [I]—染料と薬品, 12, 447, 1967.
- ポーラログラフィ [II]—染料と薬品, 13, 41, 1968.
- 銀塩材料 (白黒)—マテリアルスクールバー印写材料コース, 2, 日刊工業, 1~62, 1968.

助教授 河添邦太郎 (Kunitaro KAWAZOE)

- 吸着における粒内拡散速度について—化学工学, 31, No. 4, 354~358, 1967. 4.
- 触媒担持による多孔質体のマイクロ孔拡散抵抗の増加について(杉山衣世子と共著)—化学工学協会, 第 32 年会, 講演要旨集, 239~243, 1967. 4.
- 糖液脱色における逆移動層吸着装置の開発研究(竹内・星野・井出村らと共著)—同上, 189~193, 1967. 4.
- モレキュラーシーブによる加圧ガスの精製(川井・武口と共著)—同上, 186~188, 1967. 4.
- 吸着における物質移動係数と表面拡散係数(深草道彦と共著)—同上, 56~58, 1967. 4.
- 吸着操作および吸着装置—化学機械技術, 19, 255~275, 丸善, 1967. 5.
- 合成ゼオライト系触媒によるブタノールの脱水反応(吉田澄夫と共著)—化学工学協会 秋季大会講演要旨集, 5~6, 1967. 10.
- 多孔質体における細孔拡散と表面拡散(三神・渋谷・河野と共著)—同上, 197~198, 1967. 10.
- On Effective Diffusivity in Porous Solids (Coauthor: Sugiyama, Fukuda)—KAGAKU KÖGAKU (Abridged Ed.), 5, 1, 151~155, 1967. 12.
- プラント内の流れ—第 8 回日本アイソトープ会議論文集, B/③-5, 1968. 2.
- イオン交換における物質移動の単粒子による研究(竹内・橋本と共著)—化学工学, 32, 175~181, 1968. 2.

助教授 竹内 雍 (Yasushi TAKEUCHI)

- Studies on Heat Transfer in the Kneading of Carbon Mixtures by Cylindrical Kneaders, KAGAKU KÖGAKU, 5, 1, 33, 1967. 12.
- イオン交換における物質移動の単粒子による研究(河添・橋本と共著)—化学工学, 32, 2, 175, 1968. 2.

助教授 妹尾 学 (Manabu SENŌ)

- 電極反応を用いる重合(浅原照三と共著)—有合化誌, 25, 9, 719~734, 1967. 9.
- 不可逆過程熱力学の基礎と二, 三の応用(梅谷陽二と共著)—最近の化学工学, 25~43 丸善, 1967.
- イオン交換膜電気透析における濃度分極現象について, (III)温度および溶媒組成の限界電流密度に対する影響(山形和子・山辺武郎と共著)—電化, 35, 7, 504, 1967. 7.
- (IV)多室電解ソウにおける濃度分極現象(山辺武郎・高井信治・山形和子と共著)—電化, 35, 8, 578, 1967. 8.
- The Concentration Polarization Effect in Ion-Exchange Membrane Electro dialysis, (Coauthor: T. Yamabe)—Desolination, 2, 148~153, 1967.
- 塩化ラウリルと水硫化ナトリウムの反応における溶媒効果(浅原照三・新井 健と共著)—有合化誌, 25, 9, 790, 1967. 9.

- アクリロニトリルのポーラログラフィ (浅原照三・早野茂夫・金子秀昭と共著)—電化, 35, 12, 882~886, 1967. 12.
- 巨大網状イオン交換樹脂による加水分解と加アルコール分解 (鈴木 喬・山辺武郎と共著)—日化, 88, 11, 1141~1144, 1967. 11.
- Linear Free-Energy Relations(LFER) の不可逆過程熱力学による取り扱い(鈴木 喬・山辺武郎と共著)—日化, 89, 2, 136~138, 1968. 2.
- 巨大網状構造型イオン交換樹脂の性質(山辺武郎・山県和子と共著)—日化, 89, 2, 151~155, 1968. 2.

助教授 石田 洋一 (Yoichi ISHIDA)

- Dislocations in Grain Boundaries and Grain Boundary Sliding (Coauthor M. Henderson-Brown)—Acta Metallurgica V 15, 857, Pergamon Press, 1967. 5.
- The Formation and Growth of Cavities in Creep (Coauthor: D. McLean)—Metal Science Journal, V 1. 171, The Metals and Metallurgy Trust, London, 1967. 6.
- Dislocation Images on the Grain Boundary and their Behaviors at Elevated Temperatures (長谷川隆・永田文男と共著)—金属および合金の強度に関する国際会議前副集, 331, 日本金属学会, 1967. 9.
- 鉄マンガン合金のクリープにおける回復の二重構造—日本金属学会第 60 回大会前副集, 76, 1967. 4.
- クリープ粒界すべりの上限値—日本金属学会第 61 回大会前副集, 228, 1967. 10.

助手(特別研究員) 大蔵 明光 (Akimitsu ŌKURA)

- 直接製鉄法について—金属, 37, 1, 1967. 1.
- ガス還元による鉄 Whisker の生成について (鉄 Whisker の生産に関する研究 I) (雀部高雄と共著)—鉄と鋼, 53, 4, 1967. 4.
- 鉄と鋼 (松村貞次他と共著)—百科辞典(玉川), 科学技術, 4, 1967. 4.
- 鉄 Whisker の量産について—金属, 37, 12, 1967. 6.
- 鉄 Whisker の性質について (雀部高雄と共著)—鉄と鋼, 53, 10, 1968. 8.

助手 佐藤 乙丸 (Otomaru SATO)

- 大量トレーサの均一照射とその放射能の測定(加藤ほか 3 名と共著)—第 4 回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 19 a-III-4, 76, 1967. 4.
- セシウム 137 γ 線の後方散乱について (加藤・田中・山本と共著)—第 4 回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 18 p-III-5, 35, 1967. 4.
- 放射線・放射性同位元素応用 (加藤と共著)—電子通信ハンドブック, 28 編 6 部門 2, 1531~1537, 1967. 8.
- 放射線および放射性同位元素 (大野と共著)—電気工学年報 (42 年度版), 437~439, 1967. 12.

アイソトープによる流れの問題研究—表面水の流れ, 第8回日本アイソトープ会議, B/③-1, 1967. 11.

アイソトープによる流れの問題研究—放射性トレーサを利用した電解工場内の電解液の流れについて(加藤・井上と共著)—第8回日本アイソトープ会議, B/③-7, 1967. 11.

助手 井上 健 (Ken INOUE)

アルミニウムおよびアルミニウム合金の化学薬品・食料品に対する耐食性試験結果について(石田・中村・清水と共著)—軽金属, 17, 5, 53~78, 1967. 5.

水道水中でのアルミニウム合金の動水腐食に関する研究(加藤と共著)—軽金属学会, 41, 1967. 11.

アルミニウム合金の動的腐食に関する2, 3の観察(加藤と共著)—軽金属学会パネル討論会, 1967. 11.

助手 石塚 隆一 (Ryuichi ISHIZUKA)

プラズマジェットの実用について(第2報)炭素還元による金属ニオブの製造(江上一郎・明石和夫・小倉正夫と共著)—電気化学協会北陸支部秋季大会講演要旨集, 11, 1967, 10.

第5部

教授 星野 昌一 (Shoichi HOSHINO)

高層建築上の諸問題“防火および避難”—日本建築学会, 1967. 9.

教授 坪井 善勝 (Yoshikatsu TSUBOI)

基礎グイの径, 長さ比に関する研究, その2, 統計的考察—PCグイの傾斜角の測定結果に対する統計的考察(福島善清・末永保美と共著)—日本建築学会論文報告集号外, 251, 1967. 10. 日本建築学会.

複素応力函数による二次元問題の解析(磯貝 桓と共著)—同上, 273.

4点支持弾性板のFourier解析(角野晃二・中田捷夫と共著)—同上, 277.

円筒殻の特殊解としての膜理論解の精度(川股重也・末岡禎佑と共著)—同上, 281.

曲面板の非線形理論(Kirchhoffの仮定に基づく)(角野晃二・登坂宣好と共著)—同上, 282.

円筒殻の円孔周辺の応力解析(川股重也・中村輝男と共著)—同上, 290.

2方向吊屋根構造の解析基本式(大山 宏と共著)—同上, 292.

壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造に関する研究(Scale effectに対する次元解析について)(末永保美と共著)—同上, 382.

マトリクス変位法による骨組の解析(川股重也・半谷裕彦と共著)—同上, 295.

Finite Element Methodによる連続体の解析, その(1)剛性行列(川股重也・塩屋繁松・田中伸幸と共著)—同上, 303.

同上, その(2) 簡単な例題による精度の検討(同上と共著)一同上, 304.

同上, その(3) Matrix Iteration による大規模な問題の解析(同上と共著)一同上, 305.

マトリックス変位法によるテンション構造の解析(大山 宏と共著)—第17回応用力学
連合講演会論文抄録集, 95, 1967. 10.

殻体の応力関数と適合条件式(角野晃二・登坂宣好と共著)一同上, 101.

殻体の解析的非線型基礎方程式(角野晃二・登坂宣好と共著)一同上, 103.

周辺自由4点支持の Hyperbolic-Paraboloidal Shell の応力解析(中田捷夫と共著)—第
14回橋梁・構造工学研究発表会, 57, 1967. 12, 日本学術会議構造研究連絡委員会.
Application of Finite Element Method to Non-Symmetrical Problems of Solids of
Revolution (Coauthor: S. Kawamata and S. Shioya)—Bulletin of Earthquake Re-
sistant Structure Research Center, 7, Dec. 1967, I. I. S. University of Tokyo.

空間構造(Space Structure)と動的建築(Dynamic Architecture)—建築雑誌, 11, 701,
1967. 11.

基礎グイの径, 長さ比に関する基礎的研究, その1—1 実験的考察(軸力と曲げモーメ
ントの組合せ応力を受けるクイの力学的挙動について)(末永保美・重信恒雄と共著)
—日本建築学会論文報告集, 141, 37, 1967. 11.

同上, その1—2(理論的検討・解析的考察)(同上と共著)一同上, 142, 31, 1967. 12.

教授 星 埜 和 (Kano HOSHINO)

土のせん断抵抗—1967. 9.

道路建設の将来と問題点—道路建設, 241, 1968. 2.

教授 勝田 高司 (Takashi SHODA)

鋼管ダクト分岐部の損失圧力および発生騒音について(板本守正と共著)—日本建築学会
論文報告集, 137, 33~37, 1967. 7.

暖房期の東京都心における大気汚染について(金国正太郎・石井昭夫と共著)—日本建築
学会論文報告集, 号外, 510, 1967. 10.

市街地の気流に関する風洞模型実験(土屋喬雄・村上周三と共著)—日本建築学会論文報
告集, 号外, 517, 1967. 10.

周期ステップ変動する圧力差によるサッシの漏水について(寺沢達二・片山忠久と共
著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 526, 1967. 10.

室内空気分布の模型実験法について(土屋喬雄と共著)—日本建築学会論文報告集, 号
外, 527, 1967. 10.

混合箱の気流および騒音特性の測定結果について(寺沢達二・板本守正・塘 直樹と共
著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 566, 1967. 10.

A Study on the Performance of Box Plenums with Three Branch Ducts (寺沢達
二・板本守正・船橋 明・千葉孝男と共著)—Transactions SHASE Japan, 5, 22~

29, 1967.

教授 池辺 陽 (Kiyoshi IKEBE)

多様化と標準化 (住居デザインに対する一提案)—建築文化, 253 号, 1967. 10, 抜刷.
寸法調整におけるチェックシステム—日本建築論文報告集, 1967. 10.

Hup Report-Study on Heart Unit—1967. 9.

新建築技術に関する市場調査—日本カーテンウォール工業会報告, 1967. 11.

教授 井口 昌平 (Syōhei INOKUTI)

川の水面の横断形状に関する Baumgarten の観測について, 河川水理学のために—土木建設, 16, 9, 12~16, 1967. 9.

IHD に関する国際学術連合会議の活動の経過とその水研究学術委員会の第 2 回, 第 3 回会議の報告 (その 1)—文部省出版物 MEJ 9963, 《IHD》, 3, 13~32, 1967. 8.

IHD に関する国際学術連合会議の活動の経過とその水研究学術委員会の第 2 回, 第 3 回会議の報告 (その 2)—文部省出版物 MEJ 9966, 《IHD》, 4, 29~39, 1967. 12.

IHD 調整理事会人的影響作業部会 第 1 回会議に参加して, 文部省出版物 MEJ 9966, 《IHD》, 4, 5~28, 1967. 12.

河道のなかの流れの特性について (第 1 報) (鮎川 登 (工学部助手)・吉野文雄)—土木学会, 第 12 回水理講演会, 1968. 2. 10, 前刷り, 131~136.

教授 久保慶三郎 (Keisaburo KUBO)

構造力学演習—学献社, 1967. 5.

架け違い個所を有する連続曲線橋の動的解析について (武藤準彦他 1 名と共著)—土木学会第 9 回地震工学研究発表会講演集, 51~54, 1967. 10.

Vibration Test of a Structure Supported by Pile-Foundation—Bulletin of Earthquake Resistant Structure Research Center, IIS, 1967. 12.

原子炉と耐震設計—東京電力原子力開発研究所彙報, No. 1, 1968. 3.

教授 丸安 隆和 (Takakazo MARUYASU)

Short Range Photogrammetry of Object in Motion Invited Paper of XIth International Congress of Photogrammetry (Coauthor: Taichi OSHIMA)—Jan. 1968.

土木工学における自動設計 (中村英夫・村井俊治・若林芳夫と共著)—土木学会誌, 52-8, 1967.

助教授 田中 尚 (Hisashi TANAKA)

柱はり接合部の極限解析 (福島暁男・林 永全と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 419~420, 1967. 10.

プラスチックヒンジにおけるウェブ幅フランジ幅の制限に関する研究 (6), (7) (高梨晃一と共著)—日本建築学会論文報告集 第 136 号, 8~14, 1967. 6, および同上号

外, 416, 1967. 10.

鉄骨構造物の柱, はり接合部の耐力, 剛性に関する研究(福島暁男等と共著)—日本建築学会論文報告集号外, 427, 1967. 10.

助教授 石井 聖光 (Kiyoteru ISHII)

建築音響の模型実験における空気の音響吸収の検討(第1報)—日本音響学会講演論文集, 133, 1967. 5.

窒素を媒質とする音響模型実験の研究(平野興彦と共著)—日本建築学会論文報告集号外, 584, 1967. 10.

風船の破裂音による残響時間の測定(平野興彦・山本芳孝と共著)—日本音響学会講演論文集, 133, 1967. 11.

千葉県文化会館の音響について(平野興彦・岡田定久と共著)—日本音響学会講演論文集, 145, 1967. 11.

助教授 三木五三郎 (Gosaburo MIKI)

地盤注入用各種グラウトの注入特性—土木学会第22回年次学術講演会講演概要, III-114, 1967. 5.

京葉工業地帯における地盤条件と基礎構造との関連性について(八十島洋幸と共著)—同上, III-147, 1967. 5.

地盤調査の実務(編著)—オーム社, 1967. 6.

土地の開発と利用にはその質が問題だ, 環境開発における自然環境としての土地—土木建設, 16, 7, 12~22, 1967. 7.

地盤の遮水と強化を考える各種の注入工法と材料—総合建築, 3, 158~161, 1967. 9.

土の工学的分類法に関する問題点, 道路土工指針における分類法を中心として—道路, 11, 17~28, 1967. 11.

土質調査と土の分類(改訂道路土工指針の解説)—建設の機械化, 11, 67~72, 1967. 11.

ケミカルグラウトの浸透性と固結性に関するフルスケール試験法(今村芳徳・佐藤剛司と共著)—第2回土質工学研究発表会発表講演集, 土質工学会, 161~164, 1967. 11.

京葉港の地盤(成瀬 洋他1名と共著)—千葉県葛南開発工事々務所, 1967. 12.

助教授 小林 一輔 (Kazusuke KOBAYASHI)

軽量骨材コンクリートの圧縮, 曲げおよび引張強度におよぼす乾燥の影露(伊藤利治と共著)—第22回土木学会年次学術講演会講演概要, 1967. 5.

樹脂含浸によるコンクリートの耐水耐食処理について(村田・伊藤・関川と共著)—同上.

Durability and Watertightness of concrete impregnated with Epoxy Resins (Coauthor: MURATA)—RILEM Symposium: Experimental Research on New Developments brought by Synthetic Resins to Building Techniques. Paris 1967. 9.

プラスチック, 土木分野におけるプラスチック応用の現状と将来—土木建設, 1967. 11.

助教授 越 正毅 (Masaki KOSHI)

交差点の導流化—土木建設, 17, 2, 20, 1968. 2.

広域信号制御の現状—土木学会, 52, 9, 74, 1967. 9.

交通信号の系統制御オフセットパタンの一解法—土木学会論文集, 147, 40, 1967. 11.

助教授 川股 重也 (Shigeya KAWAMATA)

円筒殻の特殊解としての膜理論解の精度(坪井善勝・末岡禎佑と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 281, 1967. 10.

円筒殻の円孔周辺の応力解析(坪井善勝・中村輝男と共著)—同上, 290.

マトリクス変位法による骨組の解析(坪井善勝・半谷裕彦と共著)—同上, 295.

Finite Element Method による連続体の解析, その(1) 剛性行列(坪井善勝・塩屋繁松・田中伸幸と共著)—同上, 303.

同上, その(2) 簡単な例題による精度の検討(同上と共著)—同上, 304.

同上, その(3) Matrix Iteration による大規模な問題の解析(同上と共著)—同上, 305.

Application of Finite Element Method to Non-Symmetrical Problems of Solids of Revolution (Coauthors: Y. Tuboi, S. Shioya)—Bulletin of Earthquake Resistant Structure Research Center 1, 7, Dec. 1967, I. I. S. Univ. of Tokyo.

ウリッキー, サマリョウトフ, リーフキン, ドウイハビチヌイ共著, 構造設計データブック(原 尚・杉浦克治と共訳)—1967. 7, 宇野書店.

助教授 中村 英夫 (Hideo NAKAMURA)

土木工学における自動設計(丸安隆和・村井俊治・若林芳夫と共著)—土木学会誌, 52-8, 1967.